

山喜が「奄美Tシャツ」販売

シャツメーカーの山喜は、奄美大島のペットボトルをリサイクルした「奄美Tシャツ」＝写真＝を自社の「YAMAKIオンライン



ンショップ」で販売している。

奄美大島にはペットボトルを再資源化できる施設がなく、1日に1万本以上が焼却されていた。その問題を解決するために丸紅がスタートしたプラスチックリサイクルのプロジェクト「あまみPlaject（プラ・ジェクト）」の活動に、山喜が賛同した。

同島で排出されたペットボトルだけをリサイクルしたポリエステル糸を95%以上使用。オリジナルプリントに鶏飯やアマミクロウサギ、奄美大島に伝わる妖怪のケンムン（2柄）を採用した。白、黒、ブルーの3色。無地が税込み4000円、プリントは5000円。

循環型「奄美Tシャツ」販売

山喜



山喜は、奄美大島で回収されたペットボトルから再生したポリエステル糸95%以上使用素材を用いた「奄美Tシャツ」を販売開始した。丸紅が23年から取り組む「あまみプラ・ジェクト」活動の一環。伝承の妖怪など、奄美大島にまつわるオリジナルデザインを投入し製作した。無地4000円、プリント5000円。

（東京）

山喜 奄美のペットボトル原料に

プリントTシャツ製作

山喜は、素材に鹿児島県奄美大島で排出されたペットボトルを再利用するリサイクルポリエステルを使った「奄美Tシャツ」を販売中だ。自社の「ヤマキオンラインショップ」で取り扱う。

奄美大島にはペットボトルを再資源化できない施設がなく、1日に1万本以上が焼却され

で再利用する取り組みだ。

コストはかかるものの、環境配慮の観点や



「奄美Tシャツ」は公式オンラインサイトで販売

山喜はこの活動に賛同し、奄美Tシャツを企画した。奄美大島で排出されたペットボトルだけをリサイクルしたポリエステル糸を95%以上使用。無地T

シャツと、奄美にまつわるオリジナルデザインをプリントしたTシャツを作った。

プリントのデザインは希少野生動物植物に指定されているアマミクロウサギや、奄美の伝説の妖怪「ケンムン」（2柄）、同島の郷土料理「鶏飯（けいはん）」をモチーフにした。

無地TシャツもプリントTシャツもホワイト、ブラック、ブルーの3色をそろえる。価格は無地が4千円、プリントが5千円。



山喜株式会社